

## 子どもたちの学校生活を快適にするPTA活動

校長 青木 あゆ子

新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、皆様のご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。今年も稲田小学校をよろしく願いいたします。新しい年の始まった今朝、寒さの厳しい中でもまぶしい陽光に照らされながら、子どもたちの元気な声が学校に響いていました。

さて川崎市では、市内のすべての学校に対して地域の特色を活かしながらも、教育の質が同じになるように予算配置や人事配置をしています。そのような中で、子どもたちの学校生活が異なる大きな要因のひとつに「その学校のPTA活動が盛んかどうか」という因子があるように感じます。

川崎市のPTAでは数年前から、「PTAは参加したい方が参加する任意団体で、できる人ができる時にできることを子どもたちのために行う、保護者と先生の集まりです」とお伝えしています。私達教職員も、毎日子どもたちの学習環境が整うように懸命に仕事をしていますが、学習を計画し実施することが本務なので、環境をより快適にするところまでなかなか手がまわりません。でも稲田小学校では、PTAのボランティア活動の中で、子どもたちの学びや楽しみ場の場(親子工作教室、いなフェス、6年築立ちの会ボランティア)を提供したり、子どもたちのより良い生活のサポート(ベルマーク収集ボランティア)をしたり、子どもたちの安全を守ったり(下校見守り、踏切付近の看板製作、こども110番あいさつ、自転車パトロールボランティア)、保護者としての学びの場を提供(給食試食会ボランティア)したり、学校教育の様子を紹介(PTA広報紙の入学号、卒業号ボランティア)したりするなど、子どもたちを取り巻く環境が豊かになっているのです。

そんなPTA活動ですが、近年になって川崎市の条例が整理され、学校とは異なる団体であることや参加が任意であることなどを明記し、参加には同意書を提出する方向になっています。そこで稲田小学校のPTAでも、令和6年度から参加されるご家庭に、令和5年度末に同意書を出していただくことになりました。同意書をもらうようになると、PTAに参加する方が激減するのではないかと、そのことで子どもたちの学校生活の質が落ちてしまうのではないかと心配する声もあります。PTA会費の使い道等も、気になるところでしょう。直近でいえばみんなで集めたベルマークを使い、インフルエンザなどが流行した場合教室に置く空気清浄機を学校に導入することになりました。また、PTA会費の中で後援会費として計上している費用の中から、学校の各階に簡易担架を置いたり、災害時の停電に備えてトランシーバーを準備したり、転落防止窓ストッパーを全教室に設置することができました。

毎年度末、PTA活動が終わる頃、必ず聞かれる役員さんやボランティアさんの声があります。「最初は嫌だったんだけど、PTAをやって良かった。」「学校に行って、参観日とは違う子どもの姿が見えた。」「同学年だけでなく、先輩の保護者に知り合いができて、ちょっと先に起こること(中学校の進学やお子さんの手が離れて仕事を始めるようになることなど)を知って、先が見えるようになった。」「担任の先生に会ったり、保護者同士の付き合い方を相談したりできた。」「一生付き合えるような親友が近所にできた。」などの声です。そんな声を毎年聞いてきた私としては、今後でもできるだけ多くの方にPTA活動に参加していただき、みなさんが無理なくできることを子どもたちのために少しずつ力を出し合うことで、子どもたちを取り巻く環境が豊かになってほしいと思っています。今後とも、PTA活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 【 学校評価アンケート(後期)を行います 】

後期分のアンケートを1月24日(金)～29日(水)にミマモルメで配信しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。